



2022 年度 勉強に役立つ日本語クラス
報告書



神戸 YWCA 学院

日本語コース

1. 趣旨

コロナ禍 3 年目、入国が緩和され、日本の公立学校で学ぶ外国にルーツを持つ子どもたち（日本国籍も含む）が昨年より増えている。義務教育の現場で教師不足の問題もあり、クラスに日本語が分からない児童生徒がいる場合、日常忙しい教師がその子どもに十分に対応することは、非常に難しい現状がある。

神戸 YWCA 学院は 1950 年代から約 60 年にわたり専門学校として日本語教育を行ってきた実績と効果的な日本語指導のノウハウを持っている。現在は公益財団法人としてより地域に密着し、多文化共生を実現するための活動を進める中で、地域に暮らす子どもたちの日本語支援にも力を注いでいる。

神戸 YWCA 学院では、外国にルーツを持つ子どもたち支援する「トータル・サポート」というプログラムを、形を変えながら 2008 年以降、10 年以上にわたり行っている。このプログラムは、子どもたちが来日した直後から、日本社会を支える一員として社会人になっていくまで、継続的、且つ、トータル的にサポートすることを目的としている。プログラムは「ことば」を中心にサポートする STEP1 と、「学校生活」を主にサポートする STEP2 と 2 つのステップからなる。

STEP1 では、来日したばかりの子どもたちが、夏休み期間、短期集中的に基礎的な日本語や教科日本語を学べる「勉強に役立つ日本語クラス」を実施している。STEP2 では、STEP1 で基礎的な日本語力をつけた子どもたちがよりよい学校生活を送るため、毎月 1 回土曜日に「はっぴー・さぼーと」「はっぴー・すくーる」というプログラムを実施している。ここで子どもたちは日本文化等を学習したり、進学について相談したり、このプログラムの先輩の話を聞いたりしながら、社会へ出ていく準備を行っている。また、季節ごとに開催されるイベントで日本文化に触れ、学習の場としてだけでなく、居場所として神戸 YWCA を活用している。また、昨年度より神戸 YWCA が長年培ってきた外国につながりにある子どもたちへの支援のノウハウを他団体にも共有していく公共財化にも力を入れている。

このように、毎年行ってきた本プログラムであるが、これまで STEP1 では、期間中子どもたちが自ら公共交通機関を使用したり、親に送迎をしてもらったりするなどして、神戸 YWCA 学院まで通うというスタイルでプログラムを実施してきた。ただ、来日間もない子どもたちが公共交通機関を使って神戸 YWCA に通学することについては、安全性の問題、また交通費の負担などは以前から課題であるという認識を持っていた。現に、公共交通機関の使用が条件になったため、STEP1 で勉強することをあきらめざるを得ない子どもも少なくなかった。

そこで、今年度は昨年度に続き「オンライン」クラスも開講できるよう準備をしたが、オンライン希望の子どもがなく、すべて対面クラスとなった。また、上述の神戸 YWCA のノウハウの「公共財化」の試みとして、今年度も神戸 YWCA 学院の日本語講師が支援を必要とする子どもたちのいる学校へ直接足を運び、サポートするという、出張形式による新たな日本語支援を行うことにした。

2. 内容

(1) 対象

応募条件は2021年度まで「学校の勉強のために、基礎的な日本語の勉強が必要な13歳から18歳くらいの外国にルーツのある子ども（日本国籍を持つ子どもも含む）」だった。しかし近年、いわゆる学齢期を超えても、夜間中学校に入学する場合もあるなど、学校の勉強のための基礎的な日本語学習が必要な外国にルーツのある子どもが多様化しているため、年齢枠をなくし、「学校の勉強のために基礎的な日本語を勉強したい児童生徒」とした。

(2) 日時

2022年8月1日（月）～8月12日 全9日間（土日・祝日は休み）

(3) 学習形態・学習内容

基礎的な日本語学習（45分×2コマ/日）・・・6名（神戸YWCA学院6名）

教科につながる日本語学習（60分×1コマ/日）・・・6名（神戸YWCA学院6名）

※基礎的な日本語学習・・・初級レベルの日本語を学ぶことを主な目的とする
教科につながる日本語学習・・・教科を理解するための日本語の習得を目的とする

(4) テキスト

このプログラムでは当初、市販のテキストを使っていたが、プログラムの趣旨に合うものがなく、2013年度から自主教材を作成し、毎年改定作業を行ってきた。子どもが対象であること、短期間で集中的に日本語能力を伸ばす必要があることを考えたとき、市販のテキストを使用すると一つひとつの文法項目を習得するのに時間がかかってしまう。神戸YWCA学院のオリジナル教材は、扱う文法項目をコンパクトにまとめており、短期間で効果的に日本語を身につけることができる。改訂作業を重ね、2年前よりゼロ初級に近いクラス1のテキストと初級中盤レベルのクラス2のテキストを配布している。

また、「教科につながる日本語学習」を対象とした子ども6名については、市販のテキストなどを使って指導を行った。

(5) トータル・サポート STEP2 “はっぴー・すくーる” “はっぴー・さぽーと”

STEP1の「勉強に役立つ日本語クラス」が終了した後も継続的なプログラムを実施することで子どもたちがのびのびと自分らしくいることができる環境づくりを行っている。毎年対面形式で9月から実施しているプログラムである。感染状況を踏まえながら、対面とオンラインによるイベントを計画している。

(6) 授業見学会・修了式

このプログラムのイベントとしての「授業見学会・修了式」は昨年度に続き、今年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、実施を控えた。しかし、個別対応に応じ、兵庫中学校北分校より2名の先生が見学した。

(7) 成果と課題

今年度より、年齢枠をなくし、「学校の勉強のために基礎的な日本語を勉強したい児童生徒」とした。その結果、兵庫中学校北分校（夜間中学校）から3名の生徒の参加があった。来日してまもなく、このプログラムに参加し初期の日本語教育が行えたことは、生徒にとって効果があり、現場の先生の負担が軽減できた。

酷暑の中、9日間毎日休まずに神戸YWCA学院へ通った子どもたちは基礎的な日本語力、また英語、数学に関する基礎的な知識を得ることができた。また日本語講師から現在の時間（45分を2コマ）プラス20分あれば、文字学習を効果的に行えたのではないだろうか、という意見があった。次年度、子どもたちの学習背景、レベルなどを考慮して前向きに考えていきたい。

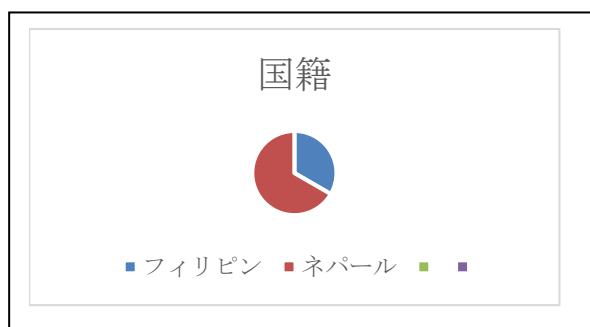
今年度も神戸YWCAが長年培ってきた外国につながりにある子どもたちへの支援のノウハウを他団体にも共有していく公共財化の観点から、芦屋市の外国につながりのある子どもを支援するセンター校である潮見小学校で支援を行う予定だった。事前にどのような子どもにどのような形の支援を行うか、話し合いを持ち準備していた。しかし直前に担当講師が新型コロナウイルスに感染したため、残念ながら潮見小学校のクラスは実施されなかった。潮見小学校での出張形式のSTEP1の実施は来年度も継続して行いたいと考えている。そのために、潮見小学校との情報交換を今年度以上に密に行いたい。

今後、学校の先生方、地域の支援者、ご家庭にこのプログラムへの理解を深めていただくために、どのような方策があるのか考え、実施することが課題である。

3. 参加者の国籍等について

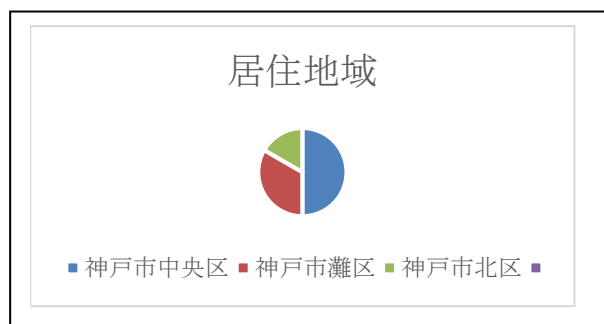
(1) 国籍

フィリピン 2人
ネパール 4人
全6人



(2) 居住地域

神戸市中央区 3人
神戸市北区 1人
神戸市灘区 2人
全6人



(3) 学習者の集め方

- ・外国人児童を支援するセンター校日本語サポーターからの紹介
- ・保護者からの申し込み
- ・昨年度の子ども対象プログラム参加者への呼びかけによる

4. 実績

(1) 出席状況

出席率 91%

(2) プレイメントテストについて

毎年事前にプレイメントテストを行っているが、今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全体でのプレイメントテストは行わず、日本語レベルに応じ、潮見中の1名と神戸YWCAの4名に、個別にインタビュー中心の簡単なプレイメントテストを実施した。

(3) 子どもたちの声



(4) 先輩の進学先（2021年度までの実績）

神戸YWCA 学院日本語コースのレギュラーコース等を経て...

県立芦屋国際中等学校 県立神戸甲北高校 県立香寺高校 県立加古川南高校
県立伊丹北高校 県立東灘高校 県立西宮香風高校 神戸龍谷中学校高等学校
県立尼崎工業高校 県立芦屋高校 県立舞子高校 徳島大学 龍谷大学
甲南大学立命館大学 神戸大学工学部 兵庫県立大 大阪大学 神戸国際大学
神戸学院大学 ほか

5. 後援・協力団体等

(1) 後援

神戸市教育委員会 兵庫県教育委員会

(2) 寄付

◇寄付者名（個人 順不同）

茶本卓子 高橋智子 山崎恵 井上みち子 川辺比呂子 三浦啓子 西村幸枝 飛田みえ子
山本 容子 宗教法人在日本南プレスビテリアンミッション

2022. 12 末現在

(4) 主な経費について

講師給与

- ・授業実施に係る費用。

日本語指導のスキルを持つプロフェッショナルな日本語教師が、日本語及び教科クラスを担当した。

- ・教材作成に係る費用。

このクラスで使用する神戸 YWCA が独自に開発したオリジナル教材の作成及び教材改訂作業を行った。

講師交通費

講師の、授業担当及び打合せ参加に係る交通費

お問い合わせ

神戸 **YWCA** 学院 日本語コース

〒651-0093 神戸市中央区二宮町 1-12-10
tel. 078-231-6303 fax. 078-231-6692

e-mail: office@kobe.ywca.or.jp

www.kobe.ywca.or.jp

YWCA

(ワイ・ダブリュー・シー・エー
(Young Women's Christian Association) は…

キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語
や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社
会参画を進め、人権や健康や環境が守られ
る平和な世界を実現する国際 NGO です。

